

(様式第4号)

上田中央地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田中央地域協議会
2 日時	令和元年11月13日(水) 午後1時30分から午後3時00分まで
3 会場	中央公民館 2階 会議室
4 出席者	天田委員、伊藤委員、岡部委員、金井委員、小林委員、瀬下委員、谷藤委員、 中澤(純)委員、中澤(健)委員、成澤委員、羽原委員、樋村委員、古川委員、 松田委員、丸山委員、宮本委員、柳沢委員、山浦委員
5 市側出席者	【事務局】小泉中央地域振興政策幹、内藤地域内分権推進担当係長、大滝中央地域担 当主査、片山地域内分権推進担当主査 【交通政策課】竹内交通政策課長、山川交通政策係主事
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和元年11月25日

協 議 事 項 等

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報 告

千曲バス「市営循環バス、路線バスの廃止・休止」について  
交通政策課から説明

以下、質疑応答

(会長) まちなか循環バスに関して、資料では3月末まで休止だが、それ以降はどうなるのか。

(交通政策課) 今年度、千曲バスと3月末までという委託契約を結んでいる為、休止という扱い。  
来年度に関しては未定。

(会長) 契約をしているということは、お金を支払っているかと思うが、休止期間の返還はあるのか。

(交通政策課) 実績による支払いため、実績が無ければ支払いも生じない。

(委員) 今後10年後、市としてはどのように考えるか。

(交通政策課) デマンド的なバスを走らせる、最先端技術の利用や無人運行など、これからの課題として  
考えていかなければならない。

(委員) 今後、廃止・休止の説明をして理解をいただくということだが、市側の責任もある。地域協議会  
で調査研究し提言を行ったにも関わらず、政策として進んでいない。市議会議員の責任でもある。地域  
協議会として交通問題を話し合ってきた経過があり、納得がいかない。

(会長) 住民側がみえていて、政策側がみえていない。この会の意見として受け止めてほしい。

(委員) 鹿教湯線が全便休止となると、鹿教湯病院に通っている人は困ってしまう。命に係わることもあるので、よく考えていただきたい。

(交通政策課) 病院が統合されるという話もある。三才山病院までは行かなくなるが、鹿教湯病院までは行く。法定の運行時間に収まる範囲で検討した結果であるため御理解いただきたい。

#### 4 協議

(1) 第二次上田市総合計画「地域の特性と発展の方向性」の見直しについて

中央地域担当から説明

・以下、質疑応答

(委員) 「地域の特性と発展の方向性検証シート」はどのようなものか。これを基に地域協議会で話し合うものか。

(事務局) 取組の内容が①から④までであるが、前期5年、後期5年ということで、前期5年終了したところで、同じ内容の取組を続けるのか、変えていくのか、新しい取組を入れるのか等を判断するための検証シートである。

(委員) 取組内容に対して、現状・進捗状況に記載されているように地域で達成されているかの検証でよいか。達成度の評価・今後の見込み等を地域協議会で入れていくのか。

(事務局) その通りである。

(委員) 取組の内容の2/3は分からない。その取り組みに関わっている人に判断してもらわなければならない。地域協議会では評価の仕様が無い。

(会長) 評価の仕様が無いというのも一つの答えである。地域協議会には伝わっていないということになる。それは意見の一つとして付ければよい。

事前に内容確認していただいたが、いかがだろうか。順番に意見ををお願いしたい。

(委員) 「ワークショップまちづくりプロジェクト事業」は4年前に七夕まつりの中で高校生に参加してもらって行った。継続していかなければ意味が無いものであるが、資金がなく打ち切りとなってしまった。

(委員) 「空家等対策協議会の発足」は発足はしたが、内容に関しては問題があるので地域協議会の分科会にて提言にも入れ込む予定である。

(委員) まちなか循環バスの運行については、千曲バスの関係もあり、進捗状況は大きく下回っている状況。上田バスに関しても、台風19号の回復状況によっても変わってくる。

(委員) これから10年後のことを考えて決めていかなければならない。議論を要する。

(委員) 「まちなかキャンパスうえだ」の活用について、積極的に行っていると思うが、企画は良いが、どれだけの人数が参加しているのか。知らない人が多く勿体ない。

(会長) どのように広報していくのか。働きながら学ぶ機会をつくらなければならない。企業や商工会に広報していかなければならない。発信、受信の方法を考えないといけない。

(委員) 市民からのニーズを吸収していない。

(委員) 山本鼎提唱100年「その歩みをみらいへ伝える運動」は、順調に活動している

(委員) 観光マップは、長野大学と作成して完成している。広めていきたい。

(会長) 残りの項目は来月の協議会で話し合いたいと思う。

## (2) 中央地域の地域課題について

### 【テーマごとに分かれて意見交換】

#### ○第1分科会：「交通問題について」

意見書に記載する内容について協議した。

「①公共交通体制と利用方法の周知」、「②市民、事業者、行政の連携体制の構築」の2つを市へ提言する方針とした。

以下、委員からの主な意見

- ・事業者と行政だけではなく、市民の意見を踏まえた上で路線の廃止などの方針を決定して欲しい。
- ・市民、事業者、行政の3者で話し合える場があれば、お互いがそれぞれの立場を理解し、建設的な意見が出るのではないか。
- ・公共交通を維持するためには、事業者、行政に頼るのではなく、市民自らも行動しなければならない。

#### ○第2分科会：「空家・放棄地問題について」

提言に向けて、小林分科会長作成の資料をもとに内容の確認を行った。

行政、自治会（地域コミュニティ）、業界団体、NPO法人等で構成する委員会の設置要望を中心に提言をまとめていくことで合意を得た。行政への提言も可能として、継続的に、地域の課題に係る進捗状況を確認して解決していく。

次回は表現等を含めて確認作業を進めることとなった。

○第3分科会：「ゴミ問題について」

「意見書（案）」についての内容確認

「①ごみ減量化にむけての啓発活動について」、「②ごみ排出困難者の支援について」を柱とした支援策を提出することとし、意見書（案）の項目ごとに表現などを検討し確認した。

この意見書（案）で提出することをベースに各自再検討し、次回完成を目指す。

(3) その他

1月に提言を行う予定で調整。

地域協議会の見直し（案）に関しては、全地域をとりまとめ、来月に回答予定。

平成30年度わがまち魅力アップ応援事業事例集の配布。

5 その他

当面の日程

ア : 12月6日（金） 13:30から （会場 : 中央公民館 2階 会議室）

イ : 令和2年1月16日（木） 13:30から （会場 : 中央公民館 3階 大会議室）

ウ : 2月5日（水） 13:30から （会場 : 未定）

6 閉会